

# 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術における バリエーション分析とアウトカム評価について

一般財団法人 永頼会 松山市民病院  
○川崎裕美 日朝綾 川本美加

## 当院概要



- ・稼動病床数 378床
- ・診療科 26診療科
- ・入院基本料 急性期一般入院料4
- ・平均病床稼働率 65%
- ・平均在院日数 14.0日
- ・外来患者 551人/日
- ・入院患者数 246人/日

## 当院のパス変遷

2009年 クリニカルパス委員会設立

2010年 クリニカルパス使用開始

2014年4月 電子カルテ導入(電子パスへ移行)

現在、15診療科、108種類のパス運用(作成中5種類)  
パス適用率 34.1%(2021年実績)

## はじめに

2019年9月から作成・運用を開始した腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術パスは2022年5月末までで137件運用されている。

今回運用開始から約3年経過したためバリエーション分析・アウトカム分析を行った。

# 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術

ステップ名称	OP前	術前	術後	術後1日目	OP2	OP3	OP4
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
	OP前日	術前	術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目
患者状態	疼痛管理	疼痛管理	疼痛がない	疼痛がない	疼痛がない	疼痛がない	疼痛がない
知識・教育・理解	手術について理解できる	手術について理解できる					
患部状態	補孔管		補孔管に問題がない	補孔管に問題がない	補孔管に問題がない	補孔管に問題がない	補孔管に問題がない
その他の全身状態		合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない
処置	処置管理	処置管理	処置に問題がない	処置に問題がない	処置に問題がない	処置に問題がない	処置に問題がない
食事	20時以降絶食 飲水可	午前9時・8時以降絶食 午後9時・11時以降絶食	手術4時間後飲水可	術中食事開始			
	午前10時の場合：除毛・麻酔処置	排便の妨げ防止	術後4時間後 モニター中止 DPFモニタリング中止	尿管ルート除去	ビザブル除去		
		末梢ルート確保					
		午後9時の場合：除毛・麻酔処置					
薬剤	投薬	投薬	注射	注射	注射	注射	
リハビリ							
検査	検査検査	検査検査	胸部・腹部レントゲン	採血			
手術			安静度	安静度フリー			退院可
ケア	経管栄養	経管栄養					
	点滴	午前9時であれば除毛・麻酔処置して 入浴	午後9時であれば除毛・麻酔処置して 入浴	点滴	シャワー可		
	排便						
観測項目							
説明							
文書							
カルテ							

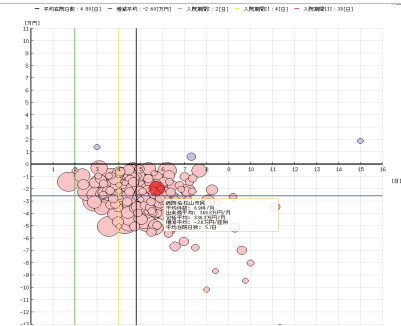
# 診断群分類

【対象疾患】 K40\$ 鼠径ヘルニア

【診断群分類】 060160X001XXXX

【手術】 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術

【点数設定】



	入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ
入院期間	1~2日	3~4日	5~30日
点数	2,337	1,912	1,721

【令和2年4月～令和3年3月データ】

◇症例数：50件（うち1件は緊急入院）

◇平均在院日数：5.6日（手術前0.7日、手術後3.8日）

◇DPC請求額平均：59.2万円（1症例あたり）

◇出来高請求額平均：57.8万円（1症例あたり）

◇DPCと出来高差額平均：▲1.4万円（1症例あたり）

# 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術

ステップ名称	OP前	術前	術後	術後1日目	OP2	OP3	OP4
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
	OP前日	術前	術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目
患者状態	疼痛管理	疼痛管理	疼痛がない	疼痛がない	疼痛がない	疼痛がない	疼痛がない
知識・教育・理解	手術について理解できる	手術について理解できる					
患部状態	補孔管		補孔管に問題がない	補孔管に問題がない	補孔管に問題がない	補孔管に問題がない	補孔管に問題がない
その他の全身状態		合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない
処置	処置管理	処置管理	処置に問題がない	処置に問題がない	処置に問題がない	処置に問題がない	処置に問題がない
食事	20時以降絶食 飲水可	午前9時・8時以降絶食 午後9時・11時以降絶食	手術4時間後飲水可	術中食事開始			
	午前10時の場合：除毛・麻酔処置	排便の妨げ防止	術後4時間後 モニター中止 DPFモニタリング中止	尿管ルート除去	ビザブル除去		
		末梢ルート確保					
		午後9時の場合：除毛・麻酔処置					
薬剤	投薬	投薬	注射	注射	注射	注射	
リハビリ							
検査	検査検査	検査検査	胸部・腹部レントゲン	採血			
手術			安静度	安静度フリー			退院可
ケア	経管栄養	経管栄養					
	点滴	午前9時であれば除毛・麻酔処置して 入浴	午後9時であれば除毛・麻酔処置して 入浴	点滴	シャワー可		
	排便						
観測項目							
説明							
文書							
カルテ							

胃引除

心拍モニター：術後3時間まで要  
酸素：術室後3時間後より徐々に減量中止可  
術室後3時間後より飲水可

安静度：術後  
3時間に変更

# 処置

バス	ステップ	看護	条件付				個別	総合計						
			追加	未実施	未入力	小計								
		バス	バス以外				合計							
			追加	未実施	未入力	小計	追加	未実施	未入力	小計				
ラパハル	術後3日目		0	20	0	20	33	13	0	46	66	0	0	66
ラパハル	術後4日目		0	4	0	4	1	5	0	6	10	0	0	10
ラパハル	OP前		0	13	0	13	92	6	0	98	111	0	0	111
ラパハル	OP当日		0	72	0	72	0	0	0	72	72	0	0	72
ラパハル	術後		0	20	1	21	784	30	0	814	835	0	0	835
ラパハル	術後1日目		0	19	0	19	220	23	0	243	262	0	0	262
ラパハル	術後2日目		0	4	0	4	31	4	0	35	39	0	0	39
ラパハル	合計		0	152	1	153	1161	81	0	1242	1395	0	0	1395
総合計			0	152	1	153	1161	81	0	1242	1395	0	0	1395

ステップ名称	OP前	OP当日	術後	術後1日目
ラパヘル 手術前日入院	1日目		2日目	3日目
投薬	■投薬 ゼンノシド錠 (12mg/T) 1回 2錠 1日1回就寝前 1日分 → 削除			
注射		■注射 点滴(O.I.V.) オキチン輸液(500mL/袋) 1袋 ルート確保 術前	■注射 点滴(O.I.V.) オキチン3Q注(500mL/袋) 1袋 シーバラ注(2mL/A) 1管	■注射 点滴(O.I.V.) オキチン3Q注(500mL/袋) 1袋 → 削除 終了後抜針
検査			■検査 血液一般 白血球分類	
検査			■検査 【P】胸部 → 削除 術後 臥位正面(A-P)	
検査			■検査 【P】腹部 → 削除 術後 臥位正面(A-P)	

1症例あたり  
4719円のコスト  
カットになる

## 看護

パス	ステップ	看護				パス以外				合計	条件付	個別	総合計
		追加	未実施	未入力	小計	追加	未実施	未入力	小計				
ラパヘル	術後3日目	0	20	0	20	33	13	0	46	66	0	0	66
ラパヘル	術後4日目	0	4	0	4	1	5	0	6	10	0	0	10
ラパヘル	OP前	0	13	0	13	92	6	0	98	111	0	0	111
ラパヘル	OP当日	0	72	0	72	0	0	0	0	72	0	0	72
ラパヘル	術後	0	20	1	21	784	30	0	814	835	0	0	835
ラパヘル	術後1日目	0	19	0	19	220	23	0	243	262	0	0	262
ラパヘル	術後2日目	0	4	0	4	31	4	0	35	39	0	0	39
ラパヘル	合計	0	152	1	153	1161	81	0	1242	1395	0	0	1395
総合計		0	152	1	153	1161	81	0	1242	1395	0	0	1395

## アウトカム評価

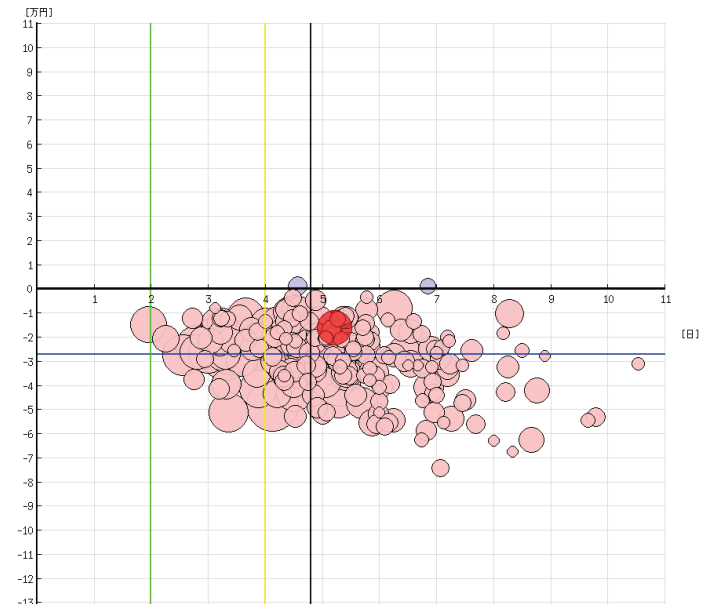
ステップ名称	OP当日	術後	術後1日目
		1日目	2日目
		術前	術後
患者状態	疼痛管理	疼痛がない	疼痛がない
知識・教育・理解	手術	手術について理解できる	
患者状態	消化管	合併症の症状・所見がない	排便状態に問題がない
	その他の全身状態	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない
	創部管理		創部に問題がない
観察項目		疼痛程度(フェイスケール)が2以下	腫脹がない
			膨満感(腹部)

術後2日目	術後3日目	術後4日目
3日目	4日目	5日目
術後2日目	術後3日目	術後4日目
疼痛がない	疼痛がない	疼痛がない
排便状態に問題がない	排便状態に問題がない	排便状態に問題がない
合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない	合併症の症状・所見がない
創部に問題がない	創部に問題がない	創部に問題がない

期間：2021年4月～2022年3月

DPC:060160x001xxxx:鼠径ヘルニア

平均在院日数：4.80(日) 増減平均：-2.70(万円) 入院期間1：2(日) 入院期間2：4(日) 入院期間3：30(日)



## まとめ

- クリニカルパスの定期的なバリエーション分析・アウトカム評価は有効である。
- 今後も患者サービスの向上や標準的な医療提供の推進に向け他職種と共同しながらバリエーション分析やアウトカム評価を実施していく。

ご静聴ありがとうございました。